

地域産業の担い手育成総合戦略事業

食物科3年生 神戸町の小松菜産地見学

■日時：令和3年6月24日(木) 午後4時～午後4時45分

■見学先：JAにしみの 小松菜ビニールハウス(神戸町下宮)

■目的：地域産業の担い手育成総合戦略事業の研究の一環として、地場野菜である小松菜の産地を見学し、生産者の方から小松菜の特徴や生育過程、諸課題などを聞き取るとともに、収穫の様子を見学する。

ビニールハウス見学の様子



〈生産者の方にインタビュー〉
夏のビニールハウスは50度以上！！



〈小松菜の観察をする様子〉
葉や茎がやわらかく、あくが少ない。

神戸町産小松菜の特徴



- ・有機肥料を改良し、年3回の土壌診断を徹底して行い、高い品質を維持している。
- ・年間を通して生産できる小松菜は、西美濃の豊富な水資源をはじめ気候風土に適した野菜である。**県内9割のシェア**を占めている。

科目「課題研究」で報告し、クラスで共有しました



○インタビューの内容を説明

- ・小松菜が若いうちに収穫することで苦味も少なく、やわらかい。神戸町の小松菜は品質重視！生産量の1割は市場に出ず、廃棄されている。

○見学を通して感じたこと

- ・ハウスの中は暑く、生産者の方のご苦労が分かった。努力の積み重ねによって神戸町の小松菜の質の高さが維持されていることを知った。生産者の思いを大切にして、美味しい小松菜レシピを開発していきたい。

○これからの研究に生かしていきたいこと

- ・ホームページやPR動画の作成、廃棄される小松菜の活用方法の検討、レシピ開発を行い、神戸町の小松菜の魅力を発信し、地産地消を推進したい。

〈生徒の感想〉

- ・フィールドワークを行うことで、生産者の方のご苦労や思いを知ることができてよかった。品質にこだわった安心安全な美味しい小松菜の魅力を発信し、地産地消を推進し、持続可能な食生活の提案につなげていきたい。